SONY®

3-270-754-**02** (1)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

VPL-FH300L
VPL-FW300L

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐにテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

↓

1. 電源を切る。
2. 電源コードや接続コードを抜く。
3. テクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

お客様へ

⚠警告　CD-ROM に収録された特約店様用設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。

お客様が特約店様用設置説明書に記載された設置工事を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置工事をしないでください。
設置については必ずテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

⚠警告　**下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。**

火災　感電

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、テクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

付属の電源コードを使う

指示

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズ交換後はレバーを必ずロックする

指示

半ロックの状態に放置すると、レンズ落下により事故の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ずテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、CD-ROM内の特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

指定された部品を使用する

指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、レンズ、フィルタは指定されたものを使用してください。

天吊り時はダストカバーをつける

指示

天吊りでご使用の場合は、必ずダストカバーを取り付けてください。
内部にほこりなどがたまると火災の原因となります。

容量の低い電源延長コードを使用しない

禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

プロジェクターにぶら下がらない

禁止

落下してけがの原因となります。

ランプ交換時、ランプカバーにランプや工具を置かない

禁止

ランプカバーにランプや工具を置くと、それらが落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てて置かない

禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

レンズシフト調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

レンズと本体の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターを交換する

指示

エアーフィルター交換のメッセージが表示されたら、必ずエアーフィルターを 2 つとも交換してください。
交換を怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

指示

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5 年に 1 度は、内部の掃除をテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ず左右側面を 2 人で持つ

指示

運搬するときは、必ず左右側面のくぼみを2人で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。
床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

製品の上にものを載せない

禁止

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

テクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、過熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使わない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠注意

- 外装のチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

⚠警告

使用済みの乾電池は、取扱説明書または地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなります。
  ランプ交換のメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない

火災

感電

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意 **下記の注意を守らないと、けが**をしたり周辺の**物品に損害**を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

本機または使用済みランプを廃棄する場合

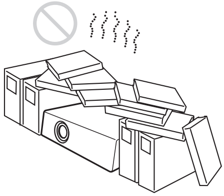
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

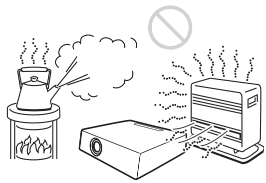
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



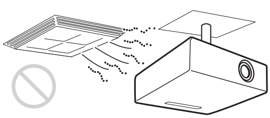
- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。」という警告メッセージが表示され、1 分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



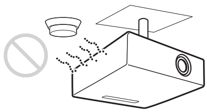
温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所



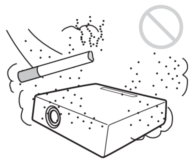
結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば



感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアーフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので、ランプを交換するときは、2つとも新しいエアーフィルターと交換してください。
交換方法については、“エアーフィルターを交換する”（60ページ）をご参照ください。

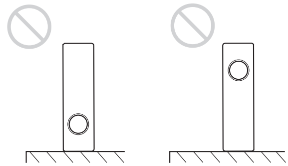
標高の高い場所で使用する場合

海抜1500m以上でのご使用に際しては、初期設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

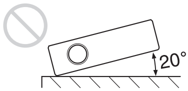
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない



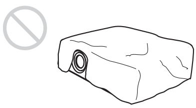
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない



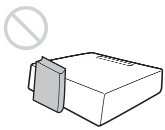
プロジェクターを20度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない



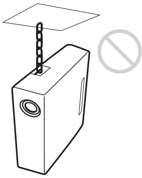
吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない



投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない



プロジェクターの底面にある盗難防止用バーには、市販の盗難防止ケーブルを取りつけるなど、盗難防止の目的で使用してください。この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下や破損による事故の原因となります。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターの交換について

- ランプを交換するときは、エアーフィルターも2つとも新しいものと交換が必要です。
- 交換方法については、“エアーフィルターを交換する”（60ページ）をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面側に表示されています。

注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

付属の説明書について

本機は、以下の説明書とソフトウェアを付属しています。
Macintosh では、取扱説明書と特約店様用設置説明書のみご覧いただけます。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（別冊）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（本書、CD-ROM に収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク編）（CD-ROM に収録）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

特約店様用設置説明書（CD-ROM に収録）

別売レンズの取り付け方法や詳細な設置情報が記載されています。

ご注意

CD-ROM に収録されている取扱説明書などをご覧いただくには、コンピューターにソフトウェア Adobe Acrobat Reader 5.0 以上がインストールされている必要があります。

ソフトウェア（CD-ROM に収録）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（日本語・英語のみ）

コンピューターの画像をプロジェクターへ転送するためのアプリケーションソフトウェアです。

本機にはレンズが付属しておりません。この取扱説明書で使用している本体のイラストには、別売の標準ズームレンズ VPLL-Z4019 を装着しています。

本機の特長

高輝度・高画質

高輝度

新開発の無機配向膜を採用した新世代のLCDパネル"BrightEra"を搭載した、ソニー独自の光学システムを実現。VPL-FH300Lで6000 lm、VPL-FW300Lで7000 lmの明るい映像を再現できます。

高解像度

VPL-FH300Lは、約221万画素の2K×1Kのパネルを3枚採用し、2048×1080ピクセルの高精細な画像を映します。VPL-FW300Lは、約109万画素のWXGAのパネルを3枚採用し、1366×800ピクセルの画像を映します。

高画質

ダイナミック・ディテール・エンハンサー機能を搭載、インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して精細な映像を再現します。また、映画ソフトなど2-3プルダウン方式の素材を忠実に再現します。さらに、12ビット3次元デジタルガンマ補正回路や3次元デジタルコムフィルターを採用、高画質化を図っています。

2灯ランプシステム

ランプを2灯搭載し、2灯同時に使用するモードや1灯のみ使用するモードなどを選択できます。明るく使いたい場合や長く使いたい場合など、使用環境に合わせてモードを選択してください。

スタイリッシュな円形デザイン

機能美と環境調和を追及し、洗練された空間デザインへの提案が可能な、スタイリッシュ円形デザインプロジェクターです。

優れた設置性

電動ズーム / フォーカス / 水平・垂直シフト機能

電動ズーム、電動フォーカス、電動水平・垂直レンズシフト機能を標準装備。離れた所からもリモートコマンダーで調整が可能です。
本機にはレンズが付属していないので、豊富なオプションレンズの中から、設置状況に合わせたレンズを選ぶことができます。

※ 別売のレンズVPLL-4008は、手動フォーカス機能のみ

レンズセンター

レンズを本体の中心に配置、スクリーンセンターと一致し、設置しやすい構造になっています。

ケーブルマネージメント

コントロール／コネクターパネル部にカバーを取り付けることにより、煩雑になりがちなケーブルが目立たない構造になっています。

前後に傾けた設置に対応

本機を上方向、および下方向に90度傾けての設置が可能です。ミラーを使用してのリア投影などに対応できます。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

ブレーカーなどで、システム全体のAC 電源を直接入れたり、切ったりすることが可能です。

ID 機能

同じ部屋で複数台のプロジェクターを使用する場合、1台ずつの調整や制御を可能にします。（最大3台まで）

容易なメンテナンス

ランプ交換は後面から、エアーフィルター交換は側面から行うため、天吊状態でも容易に対応できます。

ネットワークによる状況監視、システム拡張

LAN の環境に取り込むことにより、離れたところから Web 経由で、オン／オフなどの制御や本機のランプの使用時間などの情報取得が可能です。

また、ランプの交換時期やエラー情報などを、あらかじめ設定したアドレスにメールにお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMP や PJLink にも対応しています。

様々な入力信号に対応

5BNC、HDMI 端子を装備

HDMI 端子を装備、デジタル RGB 機器と接続できます。さらに、高精細信号の接続や長距離伝送用に対応できる5BNC 入力端子も装備しています。

対応入力信号

コンポジット、S ビデオ、コンポーネントのビデオ信号を初め、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+、WSXGA+、UXGA、Full HD と 2K × 1K（24Hz）信号まで表示することができます。

ネットワークプレゼンテーション

プロジェクターの NETWORK 端子（RJ45）にネットワークケーブルを接続することにより、有線 / 無線で LAN に接続しているコンピューターの画像をプロジェクターに投影することが可能です。詳細は、取扱説明書（ネットワーク編）をご覧ください。

その他、便利な機能

- セキュリティロック
- パネルキーロック
- 入力がダイレクトに選択できる使いやすいリモートコマンダー
- 16 言語に対応したオンスクリーンメニュー
- ピクチャーミューティング
- フリーズ
- ランプモード切替
- 盗難防止用バー
- スタンバイモード「低」搭載

商標について

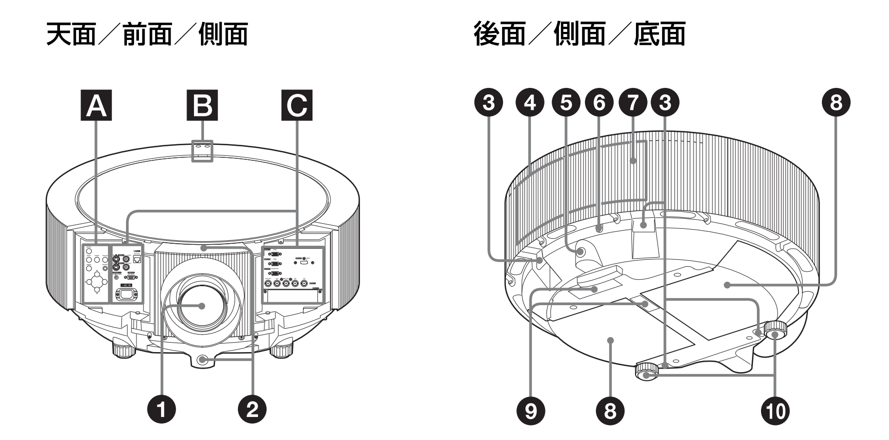
- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards

Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC 社の商標または登録商標です。
- Air Shot（エアーショット）はソニー株式会社の商標です。
- “BrightEra”はソニー株式会社の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

各部の名前と働き

本体

・本機にはレンズが付属しておりません。この取扱説明書で使用している本体のイラストには別売の標準ズームレンズ VPLL-Z4019 を装着しています。
・この説明のイラストはレンズの左右にあるカバーをはずしています。カバーのはずしかたは、「接続する」(28 ページ）をご覧ください。



❶ **レンズ**

本機にはレンズが付属しておりません。使用する環境や目的に合った別売のレンズを取り付けてください。取り付け可能な別売レンズにつきましては、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ご注意

投影する前に必ずレンズキャップをはずしてください。レンズキャップを付けたまま投影すると、熱によりキャップが溶け出す場合があります。
一時的に映像を消したい場合は、リモートコマンダーの MUTING　PIC ボタンを押して消画してください。

❷ **前面リモコン受光部**

❸ **盗難防止用バー（4 本）**

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

❹ **排気口**

⚠警告　排気口／吸気口について

・排気・吸気口をふさがないでください。排気・吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
・排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。排気口は高温に

なるので、やけどや火災の原因となることがあります。

❺ 後部リモコン受光部

❻ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル（Kensington 社製）などを取り付けることができます。
Kensington Web ページアドレス：
http://www.kensington.com/

❼ ランプカバー

❽ エアーフィルターカバー / 吸気口

2 つのフィルターが取り付けられています。

ご注意

本機の性能を保持するために、**エアーフィルター交換のメッセージが表示されたら、必ず 2 つとも新しいエアーフィルターの交換を行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターを交換する」（60 ページ）をご覧ください。

❾ 吸気口

❿ アジャスター

アジャスターを左右に回して、投影された画像の傾きを微調整します。

A コントロールパネル部

◆詳しくは「A コントロールパネル部」をご覧ください。

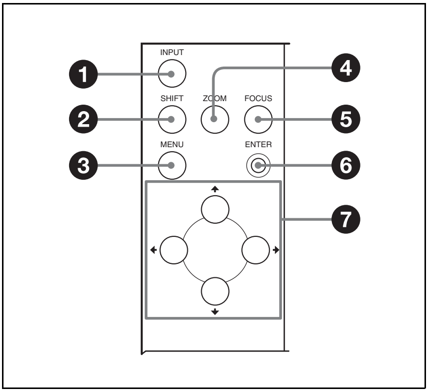
B 電源 / インジケーター部

◆詳しくは、「B 電源／インジケーター部」（19 ページ）をご覧ください。

C コネクターパネル部

◆詳しくは、「C コネクターパネル部」（21 ページ）をご覧ください。

A コントロールパネル部



❶ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。押すたびに信号が切り換わります。

❷ SHIFT（シフト）キー

投射画面の垂直・水平位置を調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。
⬆キーを押すと、画面が上に移動します。⬇キーを押すと、画面が下に移動します。➡キーを押すと、画面が右に移動します。⬅キーを押すと、画面が左に移動します。

ご注意

別売のレンズ VPLL-4008 を使用する場合は、レンズシフトをセンター付近にして設置してください。レンズシフトをセンターから動かすと画像が欠けますので、シフト操作をしないでくだ

さい。

❸ **MENU（メニュー）キー**

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

❹ **ZOOM（ズーム）キー**

画像の大きさを調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

↑ または → キーを押すと、画像が大きくなります。↓ または ← キーを押すと、画像が小さくなります。

❺ **FOCUS（フォーカス）キー**

フォーカスを調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

↑ または → キーを押すと、遠い側にフォーカスが合うようになります。↓ または ← キーを押すと、近い側にフォーカスが合うようになります。

◆ZOOM、FOCUS キーは別売のレンズ VPLL-4008 を取り付けたときは使えません。

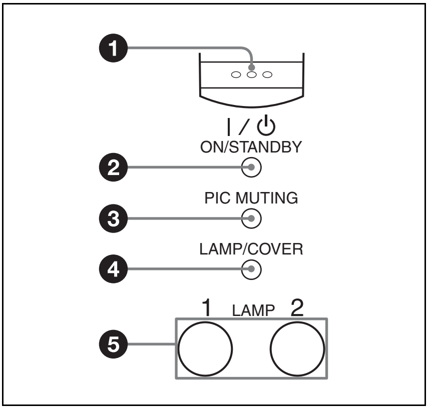
❻ **ENTER（確定）キー**

メニューの設定項目を確定するときに使います。

❼ **↑/↓/←/→（矢印）キー**

メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。

B 電源／インジケーター部



❶ **I/⏻（オン／スタンバイ）キー**

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、操作可能状態になるまでの間、ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。

電源を切るときは、画面の表示に従って、I/⏻ キーを 2 度押すか、約 1 秒間押したままにしてください。

❷ **ON/STANDBY（オン／スタンバイ）インジケーター**

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻ キーで電源を入れることができます。

赤色に点滅：セット内部が高温、または故障したとき。

緑色に点灯：電源が入っているとき、操作可能な状態のとき。

緑色に点滅：本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、および I/

⏻キーで電源を切った後の約90秒間。

オレンジ色に点灯：パワーセービング中です。

◆詳しくは、「電源を切る」（35ページ）または「インジケーターに関する項目」（65ページ）をご覧ください。

❸ PIC MUTING（ピクチャーミューティング）インジケーター

オレンジ色に点灯しているときは、リモートコマンダーのMUTIG PICボタンが押されて、映像が消画されていることを示します。

映像の消画方法は、映像信号をミューティングするイメージミューティングと、レンズ内側のシャッター機構の開閉により画像を遮断するシャッターミューティングの2通りがあり、初期設定メニューの「消画モード」によりあらかじめ設定したミューティングモードで映像を消画します。

◆詳しくは、「消画モード」（49ページ）をご覧ください。

❹ LAMP（ランプ）／COVER（カバー）インジケーター

以下の状態のとき、オレンジ色に点滅します。

2回点滅のくり返し：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

3回点滅のくり返し：ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

4回点滅のくり返し：シャッターが動作しないとき。

ただし、シャッター開放時は点滅しません。

◆詳しくは、「ランプを交換する」（58ページ）をご覧ください。

❺ LAMP1、2インジケーター

点灯しなかったランプを示します。

LAMP1がオレンジ色に点灯：

LAMP1が点灯しなかった場合。

LAMP2がオレンジ色に点灯：

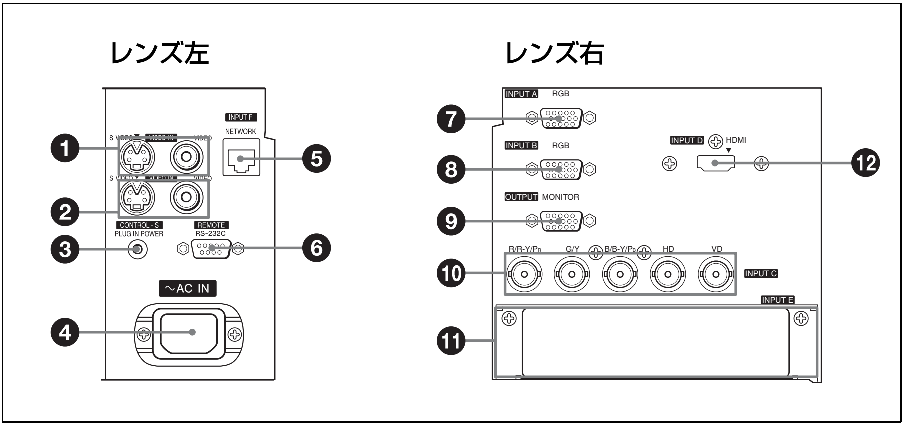
LAMP2が点灯しなかった場合。

LAMP1、2がオレンジ色に点灯：

LAMP1とLAMP2が点灯しなかった場合。

◆詳しくは、「設置設定メニュー」（53ページ）をご覧ください。

C コネクターパネル部



❶ **VIDEO IN（ビデオ入力）**

ビデオ機器などの映像を入力します。

S VIDEO （S 映像）端子（ミニDIN4 ピン）:
ビデオ機器などの S 映像出力端子と接続します。

VIDEO（映像）端子（BNC ジャック）:
ビデオ機器などの映像出力端子と接続します。

❷ **VIDEO OUT（ビデオ出力）**

S VIDEO （S 映像）端子（ミニDIN4 ピン）:
S VIDEO IN 端子に入力されている映像をループスルー出力します。

VIDEO（映像）端子（BNC ジャック）:
VIDEO IN 端子に入力されている映像をループスルー出力します。

❸ **CONTROL-S（コントロール S 信号入力）／ PLUG IN POWER（DC 5V）端子（ステレオミニジャック）**

コントロール S 出力端子のあるソニー製品に接続します。付属のリモートコマンダーの CONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードリモートコマンダーとして使用することができます。このとき、ステレオケーブルを使用すると電源は本体から供給されるので、電池を入れる必要はありません。

❹ **AC IN（電源コンセント）**

付属の電源コードを接続します。
また、必ず付属の AC コネクターカバーを装着してください。

❺ **INPUT F（入力 F）**

NETWORK 端子（RJ-45）
本機のネットワーク機能を使うとき、LAN ケーブルで接続します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネ

クターをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。

❻ REMOTE/RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコントロール用の端子と接続します。

❼/❽ INPUT A（入力 A）/INPUT B（入力 B）

アナログ RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
コンピューターの映像を入力します。
コンピューターのモニター出力端子に別売のケーブルで接続します。

❾ OUTPUT（出力）

MONITOR（モニター）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
モニターの入力端子に接続します。
INPUT A、INPUT B、または INPUT C 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルでかつコンピューター信号のみを出力します。INPUT D 端子に接続された信号は出力されません。

❿ INPUT C（入力 C）

アナログ RGB/ コンポーネント端子（R/R-Y/PR、G/Y、B/B-Y/PB、HD、VD）（BNC 型）：
プロジェクターを天つりで使用するときなど信号の長距離伝送が必要な場合は、高解像度のコンピューターやビデオなどの映像出力に接続します。
コンピューター信号、コンポーネント（R-Y/Y/B-Y）信号、HDTV または DTV（DTV GBR、DTV YPBPR）を入力することができます。

⓫ INPUT E（入力 E）部

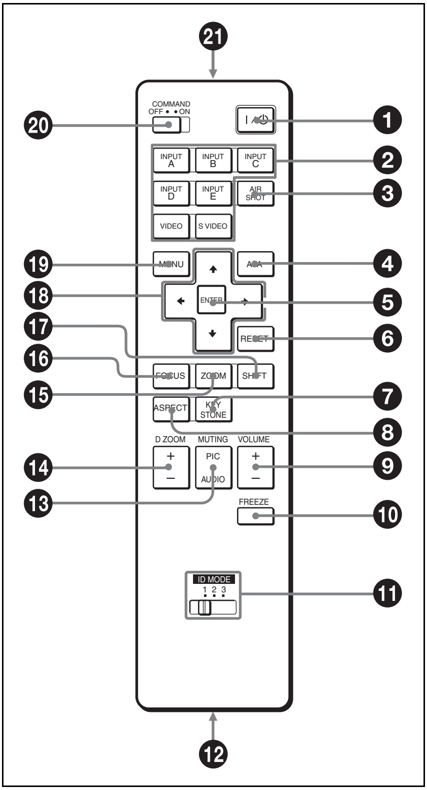
ソニー HD-SDI/SDI 入力アダプターを取り付けることができます。
取り付け可能なオプションボードにつきましては、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

⓬ INPUT D（入力 D）

デジタル RGB/ コンポーネント端子（HDMI、HDCP 対応）
HDMI/DVI 出力端子（デジタル）を持つビデオ機器やコンピューターの映像出力端子に接続します。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

❷ INPUT（入力選択）A/B/C/D/E キー

ボタン名と同じ名前の端子に接続した機器の映像を選択するとき使います。

❸ AIR SHOT（エアーショット）キー

ネットワークプレゼンテーション（INPUT F）のホーム画面を表示します。

◆詳しくは、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

❹ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、スクリーン設定メニューの「APA」（46 ページ）をご覧ください。

❺ ENTER（確定）キー

❻ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき使います。
項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❼ KEYSTONE （垂直台形補正）キー

本機の垂直台形歪み補正を手動で調整するときに使います。押すと、V キーストーン（垂直台形歪み補正）調整メニューが表示されます。🡅/🡇/🡄/🡆 キーを使って調整します。

❽ ASPECT（アスペクト）キー

投影する画面のアスペクト（縦横比）を選びます。
押すたびに、映像入力信号に合わせてアスペクト設定が切り換わります。

❾ VOLUME（音量）+ / −キー

本機では使用しません。

❿ FREEZE （フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。
解除するには、もう 1 度押します。

⓫ ID MODE 1/2/3（ID モード 1、2、3）キー

複数台のプロジェクターを使用する場合、リモートコマンダーとプロジェクターに同じ ID 番号をつけておくと、リモートコマンダーから各プロジェクターの調整や制御を可能にします。

◆「ID モード」について詳しくは、54 ページをご覧ください。

⓬ CONTROL S OUT（コントロール S 出力）端子（ステレオミニジャック）

ワイヤードリモートコマンダーとして使う場合に、本体の CONTROL S IN 端子とつなぎます。リモコンケーブル（ステレオタイプ）で接続しているときは、プロジェクターからリモートコマンダー用の電源が供給されます。

⓭ MUTING（ミューティング）キー

PIC（映像）：
映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。
MUTING キーが働いているときは、本体天面にある PIC MUTING インジケーターが点灯します。
映像の消画方法は、映像信号をミューティングするイメージミューティングと、レンズ内側のシャッター機構の開閉により画像を遮断するシャッターミューティングの 2 通りがあり、初期設定メニューの「消画モード」によりあらかじめ設定したミューティングモードで映像を消画します。

◆詳しくは、49 ページをご覧ください。

AUDIO（音声）：
本機では使用しません。

⓮ D ZOOM（デジタルズーム）+ / −キー

本機では使用しません。

⓯ ZOOM（ズーム）キー

画像の大きさ（ズーム）を調整します。

⓰ FOCUS（フォーカス）キー

画像のフォーカスを調整します。

⓱ SHIFT（シフト）キー

画像の垂直・水平位置を調整します。

⓲ ⬆/⬇/⬅/➡（矢印）キー

メニュー、ズーム、フォーカス、シフト調整時に使います。

⓳ MENU（メニュー）キー

⓴ COMMAND ON/OFF（コマンダー入／切）スイッチ

このスイッチを OFF にすると、リモートコマンダーのキーがすべて働かなくなります。使わないときに OFF にしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

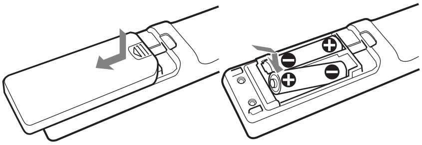
㉑ リモートコマンダー発光部

電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形（R6）乾電池 2 個（付属）を入れる。

上から押してスライドさせる。

必ず ⊖ 極側から電池を入れてください。



2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意

⚠警告

「安全のために」の「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。
リモートコマンダーが正常に働かない場合は、電池を交換してください。

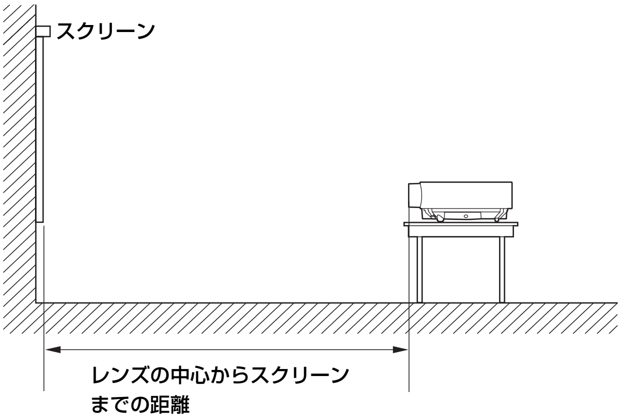
リモートコマンダーのご注意

・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

設置例

下の表は VPL-FH300L/FW300L に別売の標準ズームレンズ（VPLL-Z4019）を装着した時の設置例です。
詳細な設置寸法や天井つり、他の別売レンズをご使用の場合には、お買い上げ店、またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズの中心からスクリーンまでの距離は投影画面サイズによって変わります。下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



VPL-FH300L（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル2」または「フル」のとき）

単位：m

投影画面サイズ（対角）（型）		40	60	80	100	120	150	200	300	400	500	600
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	5080	7620	10160	12700	15240
距離	最小	1.7	2.6	3.5	4.3	5.2	6.6	8.8	13.3	17.8	22.2	26.7
	最大	2.2	3.3	4.4	5.6	6.7	8.4	11.2	16.9	22.6	28.2	33.9

（設計値のため多少の誤差があります。）

VPL-FW300L（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき）

単位：m

投影画面サイズ（対角）（型）		40	60	80	100	120	150	200	300	400	500	600
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	5080	7620	10160	12700	15240
距離	最小	1.6	2.5	3.4	4.2	5.1	6.4	8.6	12.9	17.3	21.7	26.0
	最大	2.1	3.2	4.3	5.4	6.5	8.2	10.9	16.5	22.0	27.5	33.1

（設計値のため多少の誤差があります。）

◆設置方法など詳しくは、お買い上げ店、またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

画像を映す

V キーストーン補正について

本機にはＶキーストーン補正（垂直台形歪み補正）機能があり、投影角度によって画像が台形になってしまった場合の補正が可能です。

◆設定方法など詳しくは「設置設定メニュー」（53 ページ）をご覧ください。

補正角度

VPL-FH300L：± 5°（ただし、ビデオ信号のみで使用する際は± 15°）
VPL-FW300L：± 30°（ただし、1080 ／ 24p、1080 ／ 30p では± 10°）

接続する

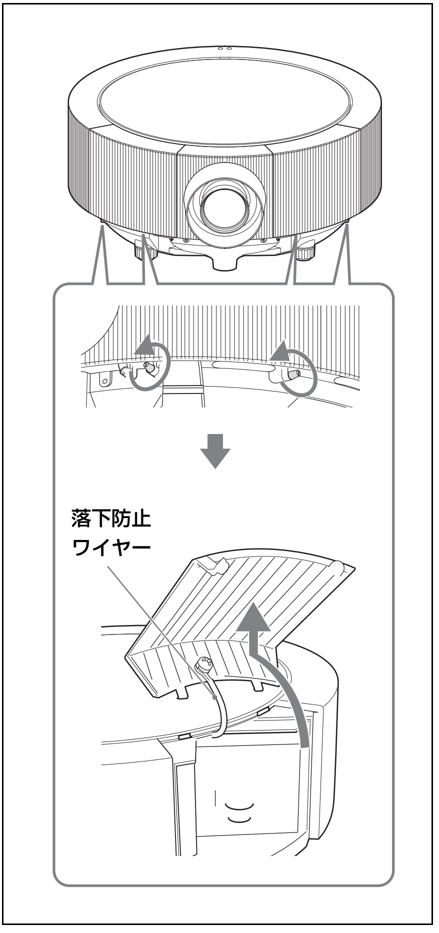
接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れの原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

◆NETWORK 端子にネットワークケーブルを接続して LAN に接続する場合は、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

コネクターカバーをはずす

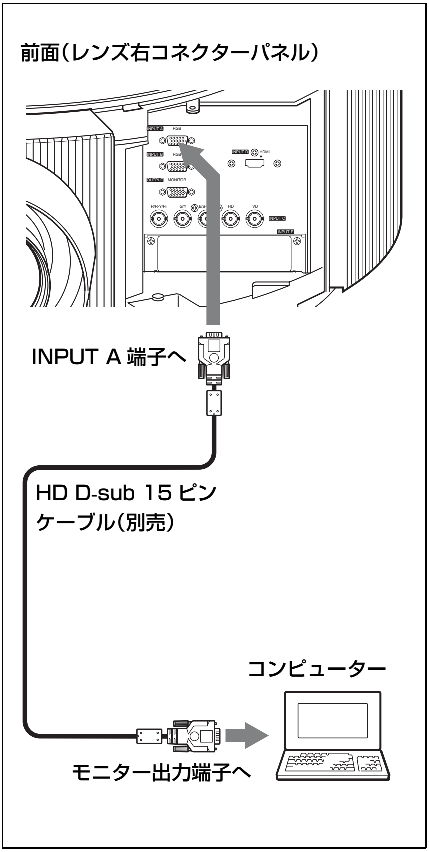
接続するときは、レンズの両側にあるコネクターカバーをはずします。
図のように、それぞれのコネクターカバー下部にあるネジ 2 個ずつをはずし、カバーの下側を持ち上げるようにしてはずしてください。
コネクターカバーは落下防止用ワイヤーで本体につながっています。



コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューター（アナログ）を接続する場合



ご注意

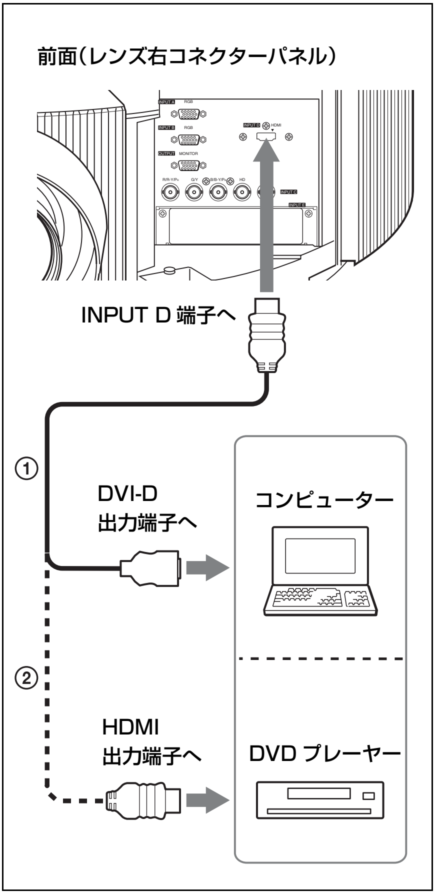
・本機は、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+ 、WSXGA+、UXGA 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を VPL-FH300L は WSXGA+、FW300L は WXGA に設定することをお勧めします。
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

Macintosh で出力端子のピン配列が 2 列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。

コンピューター（デジタル）やビデオ機器（デジタル）を接続する場合



① HDMI-DVI-D ケーブル（別売）
② HDMI ケーブル（別売）

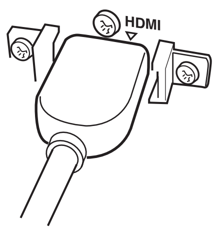
ご注意

・本機は、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+ 、WSXGA+、UXGA、Full HD、2K × 1K 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を VPL-FH300L は WSXGA+、FW300L は WXGA に設定することをお勧めします。
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。
◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
・HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。
・本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

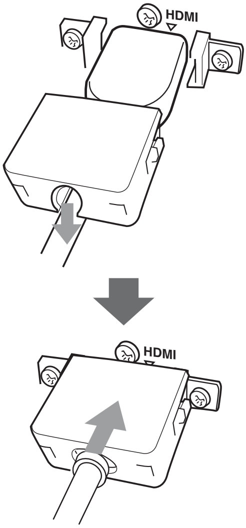
HDMI コネクターカバーを取り付ける

本機には HDMI ケーブル用の抜け防止カバーが付属しています。必要に応じて取り付けてください。
なお、本機に取り付け確認済みの HDMI ケーブルにつきましては、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

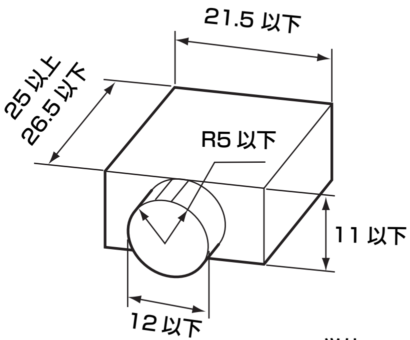
1 **HDMI コネクターをしっかりと差し込む。**



2 **HDMI コネクターカバーのきり込み部をケーブルの上からかぶせ、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。**

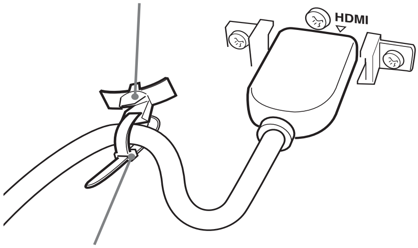


HDMI コネクターカバーが取り付けられるコネクターのサイズ



HDMI コネクタカバーが固定できない場合は

接続する HDMI ケーブルによっては、HDMI コネクターカバーでは固定できない場合があります。その場合は、HDMI ケーブルの横にあるケーブルタイホルダーに市販のケーブルタイなどを利用し、図のように固定してください。



ケーブルタイは、太さが 1.9 ミリ× 3.8 ミリ以下のものを用意してください。

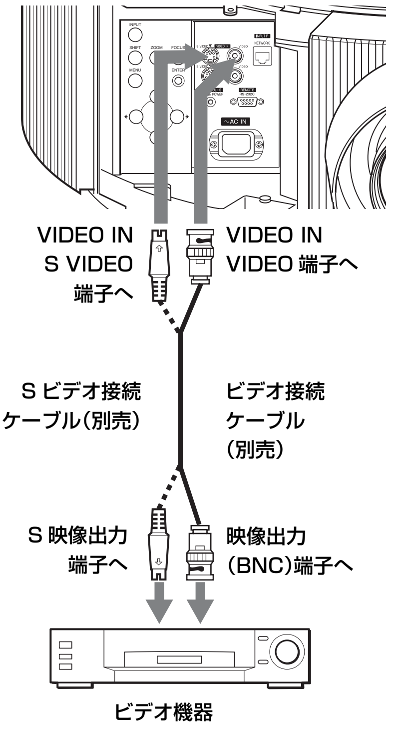
画像を映す

ビデオ機器を接続する

ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

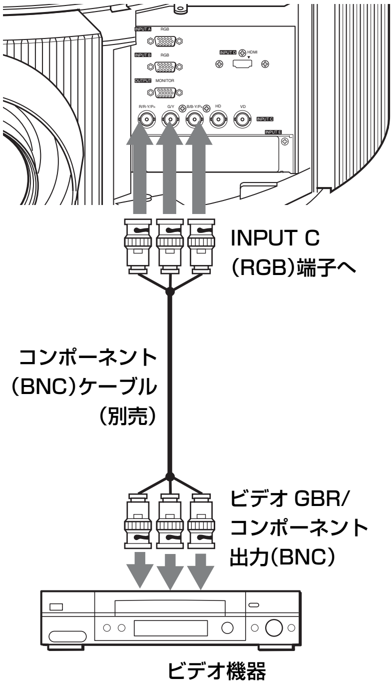
映像出力（BNC）端子、または S 映像出力端子に接続する場合

前面（レンズ左コネクターパネル）



ビデオ GBR ／コンポーネントの出力端子に接続する場合

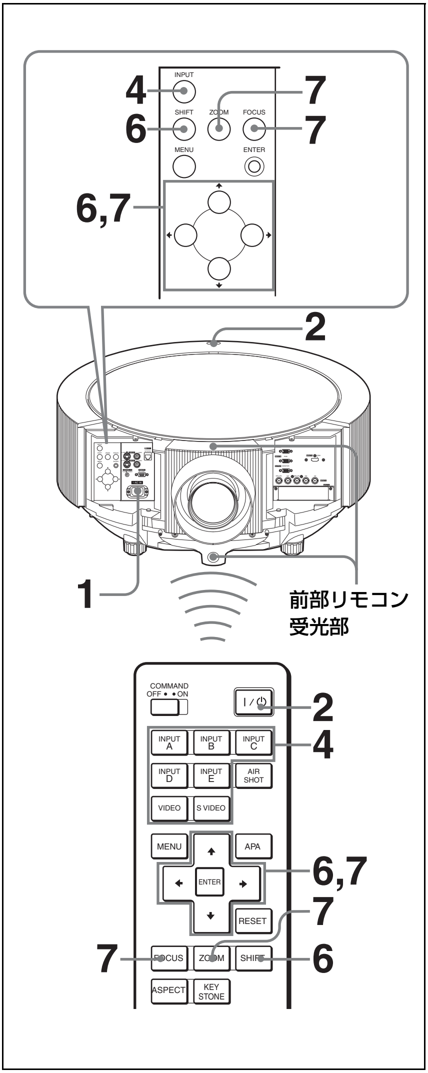
前面（レンズ右コネクターパネル）



ご注意

入力する信号に応じて、スクリーン設定メニューの「アスペクト」を設定してください。

スクリーンに画像を映す



1　電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2　I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。

3　接続した機器の電源を入れる。

4　INPUT キーを押して投影する映像を選ぶ。

リモートコマンダーの INPUT A/B/C/D/E キーのいずれかを押すと、ダイレクトに投影する映像を選べます。

コントロールパネルの INPUT キーは、押すたびに映像が以下のように切り換わります。

入力 A →入力 B →入力 C →入力 D
S ビデオ←ビデオ←入力 F ←入力 E

投影する映像	画面の表示
コンピューター（入力 A 端子につないだ機器の映像）	入力 A
コンピューター（入力 B 端子につないだ機器の映像）	入力 B
コンピューター / ビデオ機器など（入力 C 端子につないだ機器の映像）	入力 C
コンピューター / ビデオ機器など（入力 D 端子（デジタル）につないだ機器の映像）	入力 D
ビデオ機器など（オプションボードにつないだ機器の映像）	入力 E

投影する映像	画面の表示
コンピューター（ネットワークプレゼンテーション機能を使用するためにLANに接続した機器の映像）	入力F
ビデオ機器（VIDEO端子につないだ機器の映像）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO端子につないだ機器の映像）	Sビデオ

スマートAPA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

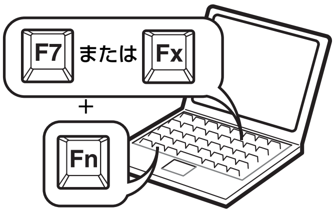
・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「オート入力サーチ」（51ページ）をご覧ください。

・スマートAPAは、コンピューター信号（アナログ）入力時にのみ働きます。

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA、 など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



ご注意

コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 画像の上下左右の位置を調整する。

SHIFTキーを押して↑/↓/←/→キーで位置を調整します。

7 画像の大きさとフォーカスを調整する。

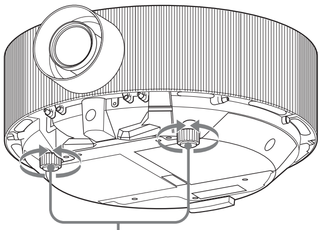
FOCUSキーを押して↑/↓/←/→キーでフォーカスを調整し、ZOOMキーを押して↑/↓/←/→キーで画面の大きさを合わせます。

ご注意

VPLL-4008にはズーム機能はありません。また、フォーカスはレンズリングを回して調整してください。

アジャスターを調整するには

プロジェクターを置く台などが水平でない場合は、アジャスターを使って調整できます。



⚠注意

・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

電源を切る

1 I/⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか？もう一度 I/⏻ キーを押してください。」とメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージは I/⏻ キー以外のキーを押すか、約 5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I/⏻ キーをもう一度押す。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻ キーを押しても、ランプは点灯しません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

（ダイレクトパワーオン / オフ機能使用時を除く）

画面のメッセージを確認できない場合は

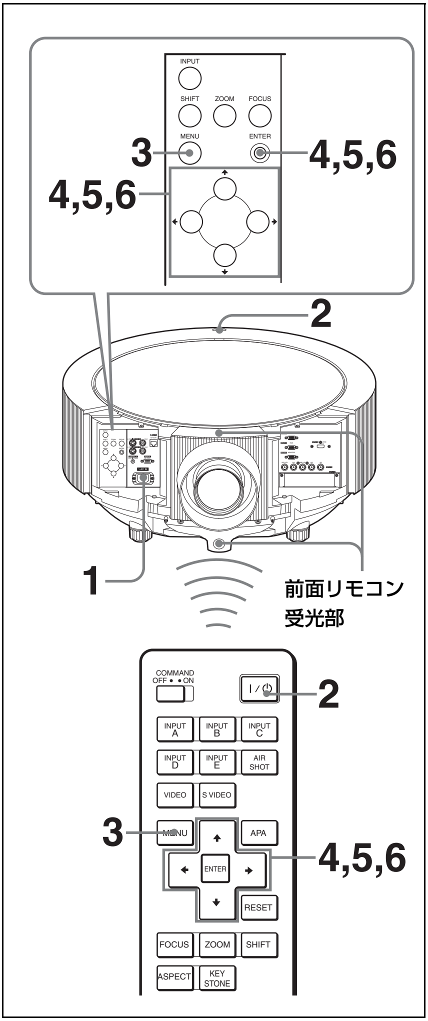
状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作の代わりに I/⏻ キーを約 1 秒押したままにしても電源を切ることができます。

ご注意

ダイレクトパワーオン／オフ機能の内蔵回路により、I/⏻ キーで電源を切り ON/STANDBY インジケーターが赤色に変わってからも、しばらくの間ファンが稼動していることがあります。

メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 16 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」（英語）に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。

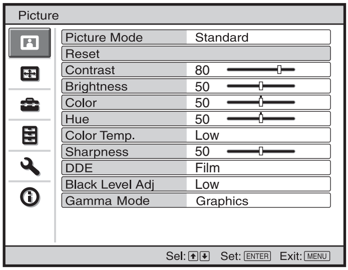


1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

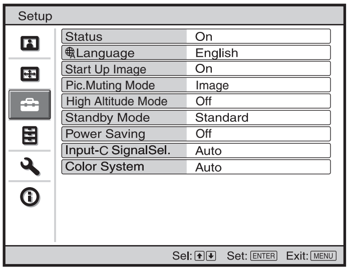
3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

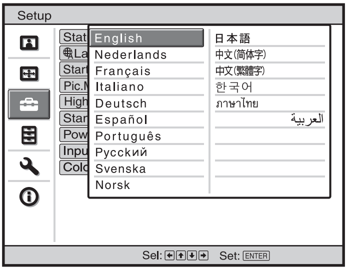


4 ⬆ または ⬇ キーを押して （Setup）（初期設定）メニューを選び、➡ または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



5 ⬆または⬇キーを押して「Language」（表示言語）を選び、➡またはENTERキーを押す。



6 ⬆、⬇、⬅、➡キーを押して表示させたい言語を選び、ENTERキーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

セキュリティロック

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

- セキュリティロックを有効にした場合、電源コードを抜き挿しした後で電源を入れた時にのみパスワードの入力が求められます。
- パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

セキュリティロックをかける

1 MENUキーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。

2 パスワードを入力する。

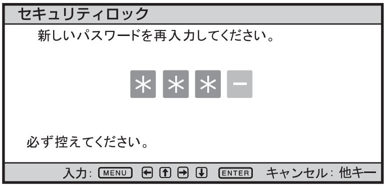
MENU、⬆/⬇/⬅/➡、ENTERの6つのキーを使用して4桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されていますので、初回使用時にはENTERを4回入力してください。）



次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。



3 **確認の為もう一度パスワードを入力する。**



「セキュリティロックが有効になりました」というメッセージが表示されたら完了です。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順**1**からやり直してください。

4 **設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。**

セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に３回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、**I**/⏻キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除する

1 **MENUキーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。**

2 **パスワードを入力する。**

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国／地域によって異なります）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

その他の機能

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。電源オフ後も、内蔵回路によりファンが一定時間自動的に稼働します。

ご注意

・本機能は15分以上の通電が必要です。通電時間が短い場合には、充電不足のためファンが充分に回らないことがあります。通電時間が短い場合は、パワーオフ後にON/STANDBYインジケーターが赤く点灯するのを確認してから電源コードを抜いてください。
・パワーオフしてすぐにパワーオンすると、ランプが点灯しにくい場合があります。

プレゼンテーション機能

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーのFREEZEキーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
元の画面に戻すには、FREEZEキーをもう一度押します。

コンピューターを別売のプレゼンテーションツール、RM-PJPK1から操作する（ネットワークプレゼンテーション機能使用時）

ネットワークプレゼンテーション機能を使用して、コンピューターの画面をプロジェクターへ投射している場合、別売のアクセサリーのプレゼンテーションツールから一部のスライドショー操作が可能です。

キー	機能
LASER*	レーザーを発光
⇦ SLIDE ⇨	スライドショーのページ送り／戻し
B	スライドショー時、黒画面の表示／解除

* ネットワークプレゼンテーション機能を使用していない場合でも使用可能。

ご注意

・プレゼンテーションツールと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
・ご使用になるパソコンのOSの言語によっては、Bキーを押しても黒画面にならないことがあります。
・プレゼンテーションツールを使うには、設置設定メニューの「IDモード」を「オール」または「1」に設定してください。

メニューの操作方法

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

◆表示言語を切り換えるには、「メニュー表示言語を切り換える」（36 ページ）をご覧ください。

画面に表示される項目について

入力信号表示

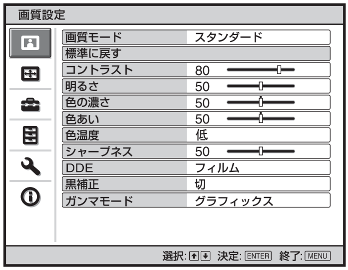


入力信号表示

選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときは x⊡ 表示になります。初期設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

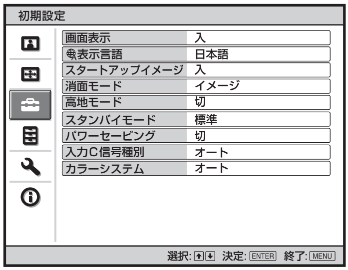
1 MENU キーを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 ⬆または⬇キーを押してメニュー項目を選び、➡または ENTER キーを押す。

調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が黄色で表示されます。



3 ⬆または⬇キーを押して設定したい項目を選び、➡または ENTER キーを押す。

設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー

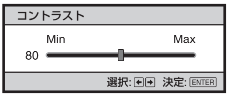
設定できる項目



設定メニュー

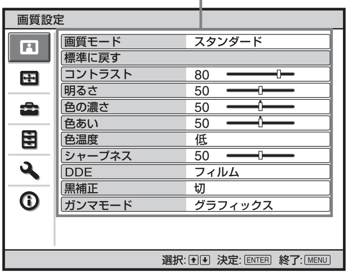


調整メニュー



次の階層に表示された画面

設定できる項目



4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、⬆または➡キーを押す。

数値を小さくするときは、⬇または⬅キーを押す。

ENTERキーを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

設定を変更する項目を選ぶ場合：

⬆または⬇キーを押して設定を選ぶ。ENTERボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし設定によっては⬅ボタンでも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

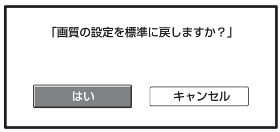
MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

設定値をリセットするには、以下の2つの方法があります。

・画質設定メニューから「標準に戻す」を選択する。



画面表示されたら「はい」を選択する。以下の項目がまとめてお買い上げ時の値に戻ります。画質設定メニューの「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」、「DDE」、「黒補正」および「ガンマモード」

・リモートコマンダーのRESETキーを押す。

項目を調整中（画面に表示中）にRESETキーを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

調整できない項目について

入力する信号の種類によって、調整／設定できる項目が限られます。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

◆詳しくは、57 ページをご覧ください。

設定値の記憶について

設定値は ENTER キーを押すと自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

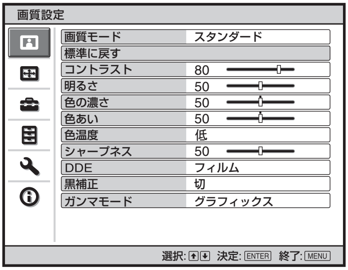
入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

画質設定メニュー

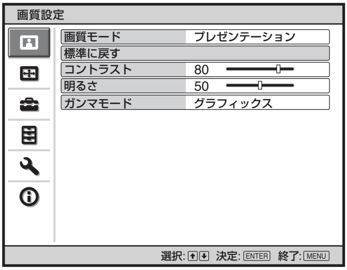
画質を調整するメニューです。
メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。

◆詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(56 ページ)をご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



コンピューター信号を入力しているとき



設定項目	機能	初期設定値
画質モード	画質モードを選びます。 ・**ダイナミック:**明暗のはっきりしたメリハリのある自然な画質になります。 ・**スタンダード:**通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画面にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。 ・**プレゼンテーション:**コンピューター信号入力時、プレゼンテーションに適した明るい画質になります。	入力信号による
標準に戻す	選ばれている画質モードの項目の設定値をお買い上げ時の値に戻します。	–
コントラスト	映像の明るい方(白レベル)を調整します。 設定値が大きくなるとコントラストが強くなり、小さくなると弱くなります。	80
明るさ	映像の明るさ(輝度)を調整します。 設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。	50
色の濃さ	色の濃さを表す彩度を調整します。 設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。	50

設定項目	機能	初期設定値
色あい	色あいを調整します。 設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると赤みがかります。	50
色温度	色温度を調整します。 ・**高**：白い部分が青みがかった冷たい色調になります。 ・**中**：白い部分が自然な色調にします。 ・**低**：白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。	低
シャープネス	映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくさせたりします。 設定値が大きくなると輪郭がくっきりし、小さくなると柔らかくなりノイズを目立ちにくくできます。	50
DDE（ダイナミックディテイルエンハンサー）	映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。 ・**フィルム**：通常はこの位置にします。映画ソフトなど2-3プルダウン方式の素材を滑らかな動きで再現します。また、2-3プルダウン方式以外の素材の場合は、自動的に「プログレッシブ」に切り換えて再生します。 ・**プログレッシブ**：インターレースのビデオ信号をプログレッシブに変換して再生します。 ・**切**：インターレースの信号をそのまま変換しないで再生します。	フィルム
黒補正	明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 映像ソースに合わせて設定します。 ・**強**：強い黒補正。 ・**弱**：弱い黒補正。 ・**切**：黒補正なし。	切
ガンマモード	ガンマ補正曲線を選びます。 ・**グラフィックス**：中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。 ・**テキスト**：白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。	グラフィックス

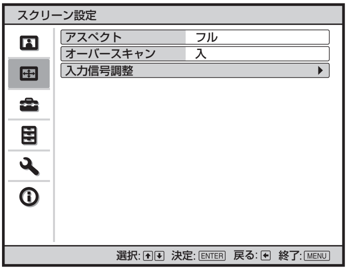
ご注意

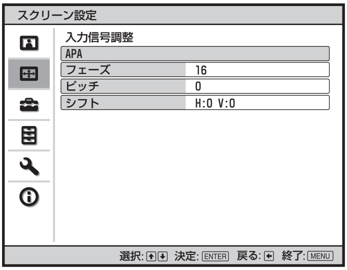
画質モードを「プレゼンテーション」に設定すると、色温度の項目が表示されません。

スクリーン設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
画面のサイズやワイド切換えなどを調整できます。
メニューによっては、入力信号の種類により調整・設定できる項目が限られます。

◆詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（56 ページ）をご覧ください。





設定項目	機能	初期設定値
アスペクト（ビデオ信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。ビデオ信号入力時（メモリーナンバー 1 〜 11）の場合のみ設定可能です。 ・**フル：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 ・**4：3：**4：3 の映像を入力しているときに選びます。 ・**16：9：**スクイーズの映像を入力しているときに選びます。	入力信号による
アスペクト（PC 信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。PC 信号入力時のみ（メモリーナンバー 21 〜 63）設定可能です。 ・**フル 1：**オリジナル映像の縦横比を変えずに縦または横いっぱいに映します。 ・**フル 2：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 ・**ノーマル：**入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像は鮮明になりますが、画面に表示される画像は小さくなります。 ・**4：3：**アスペクト比を 4:3 にします。 ・**16：9：**アスペクト比を 16:9 にします。	入力信号による

設定項目	機能	初期設定値
オーバースキャン	映像の周囲を隠したいときに使います。 ・**入：**入力映像の周囲を隠します。映像の端にノイズなどが見えるような場合にはこちらに設定します。 ・**切：**入力映像を全て表示します。	入
入力信号調整	入力信号を調整します。	
APA (オートピクセルアライメント)	ENTER キーを押すと映像信号にあった位置にフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整します。	入力信号による
フェーズ	画素とコンピューター信号の位相を調整します。一番くっきり見える数値にします。	
ピッチ	コンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整します。数値が大きくなるとサイズが大きくなり、小さくなるとサイズが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせます。	
シフト	画面の位置を調整します。 ・**H（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。⬅/➡ ボタンを押して設定します。 ・**V（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。⬆/⬇ ボタンを押して設定します。	

ご注意

・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
・「アスペクト」は、入力信号により「アスペクト」の項目自体、あるいは一部の設定項目が表示されません。また、「フル 1」、「フル 2」が同じ画像になることがあります。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ50種類 の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面（56ページ）に表示されます。
プリセットされたデータをスクリーン設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー0と表示され、スクリーン設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

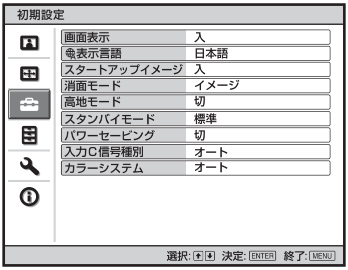
◆詳しくは、「プリセット信号一覧」（76ページ）をご覧ください。

ご注意

スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル」または「フル２」以外に設定されている場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
画面表示	メニュー表示などの情報を投影画面に表示するかを設定します。 「切」に設定すると、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。	入
表示言語	メニュー画面の表示言語を選択します。 「English」（英語）、「Nederlands」（オランダ語）、「Français」（フランス語）、「Italiano」（イタリア語）、「Deutsch」（ドイツ語）、「Español」（スペイン語）、「Português」（ポルトガル語）、「Pусский」（ロシア語）、「Svenska」（スエーデン語）、「Norsk」（ノルウェー語）、「日本語」、「中文(简体字)」（中文簡体字）、「中文(繁體字)」（中文繁体字）、「한국어」（韓国語）、「ภาษาไทย」（タイ語）、「العربية」（アラビア語）から選べます。	English
スタートアップイメージ	・**入**：電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示します。 ・**切**：電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示しません。	入

設定項目	機能	初期設定値
消画モード	MUTING PIC ボタンを押した時、スクリーンから画像を消す場合の設定をします。 ・**イメージ：**映像信号をミューティングすることにより画像を消します。この場合は黒い映像信号がスクリーンに投射されています。 ・**シャッター：**レンズ内側のシャッター機構の開閉により映像信号を遮断します。この場合はスクリーンに映像信号が投射されません。	イメージ
高地モード	高地で使用の場合に設定します。 ・**入：**海抜 1500m 以上の高地で使用の場合はこの位置に設定します。 ・**切：**平地での使用の場合はこの位置に設定します。	切
スタンバイモード	スタンバイ時の消費電力を少なくします。 「低」に設定すると、スタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。	標準
パワーセービング（節電モード）	節電のモードを選びます。 ・**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くとランプが消え、ON/STANDBY インジケーターがオレンジ色に点灯します。信号が入力されたり、キーを操作したりすると再びランプが点灯します。 ・**スタンバイ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くとスタンバイ状態になり、ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。再び使用する場合は、もう一度電源を入れてください。 ・**切：**節電モードに入りません。	切

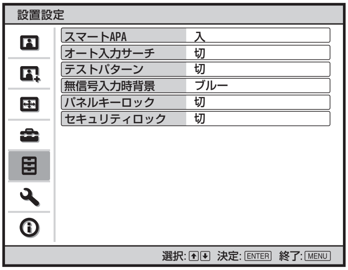
設定項目	機能	初期設定値
入力C信号種別	INPUT Cに入力される信号の種類を選択します。 INPUTボタンで「入力C」を選んで映す機器からの信号の種類を選びます。 ・**オート：**入力されている信号の種類を自動判別して設定します。 ・**コンピューター：**パソコンからの信号を入力するとき。 ・**ビデオGBR：**ゲーム機、ハイビジョン放送などの信号を入力するとき。 ・**コンポーネント：**DVDプレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスクプレーヤー（BD）、地上デジタル・BS・110度CS（CS1、CS2）・デジタルCSチューナーなどからのコンポーネント信号を入力するとき。	オート
カラー方式	ビデオ入力時のカラー信号方式を選択します。 ・**オート：**NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60から自動判別します。 ・**NTSC3.58～PAL-N：**強制的に指定されたカラーシステムに設定します。	オート

ご注意

・海抜1500m未満で高地モードを「入」に設定すると、ランプの信頼性に影響する恐れがあります。
・高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
・スタンバイモードを「低」にした場合、ネットワークプレゼンテーションおよびネットワークコントロール機能は使えません。
・入力C信号種別を「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。
・カラー方式の設定を通常は「オート」にしておくと、自動的に判別しますが、信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式に合わせて選択してください。

機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
スマート APA	APA（Auto Pixel Alignment）とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。スクリーン設定メニューの「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。「入」に設定すると、信号入力時に毎回実行します。 ・**入：**コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。 ・**切：**リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。	入
オート入力サーチ	INPUT キーを押したとき、入力信号のある入力端子に自動で切り換えます。 「入」に設定すると、INPUT キーが押されたときに、入力 A、入力 B、入力 C、入力 D、入力 E、入力 F、ビデオ、S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のある入力端子を表示します。入力 E と入力 F は常に信号有として表示されます。 入力信号のない入力端子を選択する場合や、手動で切り換える場合は「切」にします。	切

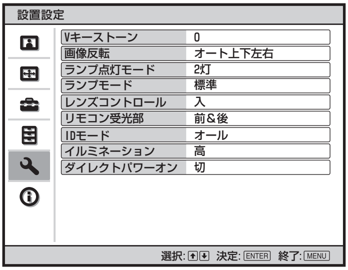
設定項目	機能	初期設定値
テストパターン	テストパターンを表示します。 「入」にすると、レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時およびVキーストーン調整時に、テストパターンが表示されます。表示したくないときは「切」にします。	切
無信号入力時背景	信号が入力されていないときの画面の色を選択できます。 「ブラック」または「ブルー」に設定できます。	ブルー
パネルキーロック	本体のコントロールパネルキーをすべてロックし、リモートコマンダーのみで操作するように制御できます。 コントロールパネルキーをロックしたいときは、「入」に設定します。 本体側でロックを解除するには、電源が入った状態でMENUキーを約10秒押すとロックが解除され、設定が「切」になります。	切
セキュリティロック	本機にセキュリティロックを設定します。「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。 ◆詳しくは、「セキュリティロック」（37ページ）をご覧ください。	切

ご注意

・APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しくAPA機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
・調整中にもう1度APAキーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
・画質を手動で調整するときは、スクリーン設定メニューの「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」の調整をしてください。

設置設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
V キーストーン	投影角度によって画像が台形になってしまった場合に補正します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定する。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定する。	0
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。 · **上下左右：**画像を水平、垂直方向に反転します。 · **左右：**画像を水平方向に反転します。 · **上下：**画像を垂直方向に反転します。 · **切：**画像は反転しません。 · **オート上下左右：**本機の設置に合わせ、水平、垂直方向を自動的に設定します。	オート上下左右
ランプ点灯モード	搭載している 2 灯のランプの点灯のしかたを設定します。 · **2 灯：**常に 2 つのランプが点灯します。 · **オート 1 灯：**2 つのランプのランプタイマーから、毎回、使用時間の短い方を選んで点灯させます。 · **固定ランプ 1：**常にランプ 1 を点灯させます。 · **固定ランプ 2：**常にランプ 2 を点灯させます。	2 灯

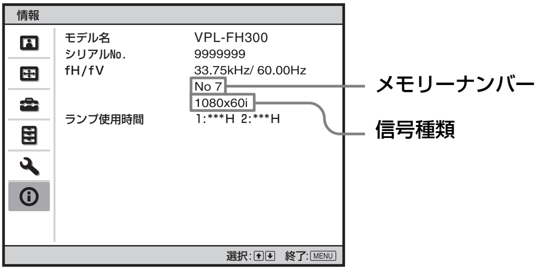
設定項目	機能	初期設定値
ランプモード	投影時のランプの明るさを設定します。 ・**高：**画面が明るくなります。 ・**標準：**投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。	標準
レンズコントロール	レンズ関連の調整（「フォーカス」、「ズーム」、「シフト」）を誤って変更しないようにロックします。 「入」に設定するとリモートコマンダーおよびコントロールパネルからレンズ関連の調整ができます。レンズ関連の調整を変更したくないときは「切」に設定します。「切」に設定すると、FOCUS、ZOOM、SHIFTキーが働かなくなります。	入
リモコン受光部	リモートコマンダーの効きが悪いときに、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り替えます。 ・**前＆後：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。 ・**前：**前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。 ・**後：**後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。 蛍光灯などの影響で、リモートコマンダーの動きが悪かったり、誤動作したりするときは、蛍光灯側にあるリモコン受光部がオフになるよう設定してください。	前＆後
ID モード	リモートコマンダーから特定のプロジェクターを制御したいとき、プロジェクターに ID 番号（1 ～ 3）を設定します。リモートコマンダーの ID 番号を 1 に設定すると、ID 番号「1」に設定したプロジェクターを制御できます。「オール」に設定すると、リモートコマンダーからリモートコマンダーの ID MODE キーに関係なく、プロジェクターを制御できます。	オール
イルミネーション	本機の通電時、天面の「SONY」ロゴが光ります。ロゴの明るさを「高」「中」「低」から選んで設定するか、光らせたくない場合は「切」を設定します。	高
ダイレクトパワーオン	ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合は、ダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。 スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。	切

ご注意

レンズシフト調整の位置によっては、V キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。

情報メニュー

プロジェクターのモデル名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



設定項目	機能
モデル名	機種を表示する。
シリアル No.	シリアル番号を表示する。
fH（水平周波数）	水平周波数を表示する。
fV（垂直周波数）	垂直周波数を表示する。
メモリーナンバー	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示する。
信号種類	入力信号の解像度を表示する。
ランプ使用時間	ランプ1とランプ2のそれぞれの使用時間を累積して表示する。（現在点灯しているランプナンバーの背景が黄色に表示されます。）

ご注意

- fH（水平周波数）と fV（垂直周波数）は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
- 上記の項目は変更できません。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、次の表をご覧ください。
調整・設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ / Sビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク
画質モード	○	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○
色の濃さ	○ *1	○	○	×	×
色合い	○ *2	○	○	×	×
色温度	○	○	○	○ *3	○
シャープネス	○	○	○	×	×
DDE	○	○	○	×	×
黒補正	○	○	○	×	×
ガンマモード	×	×	○ *4	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*1：白黒を除く

*2：NTSC3.58、NTSC4.43 のみ、白黒を除く

*3：「画質モード」が「ダイナミック」または「スタンダード」設定時のみ

*4：プリセットメモリーナンバー 3、4 のみ

スクリーン設定メニュー

項目		入力信号				
		ビデオ / Sビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク
アスペクト		○	○	○	○	○
オーバースキャン		×	○	○	×	×
入力信号調整						
	APA	×	×	×	○ *5	×
	フェーズ	×	×	×	○ *5	×
	ピッチ	×	×	×	○ *5	×
	シフト	×	○	○	○	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*5：HDMI 入力、オプションボードからの入力を除く

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品です。次のような場合は消耗したランプ（ランプ１または２）を新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・ランプ交換のメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点滅したとき（3 回点滅パターンの繰り返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプ LMP-F271 をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切り、1 時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

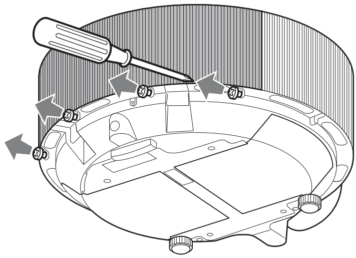
・ランプが破損している場合は、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のノブをつまんで引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に取り出し、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1　本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

ご注意

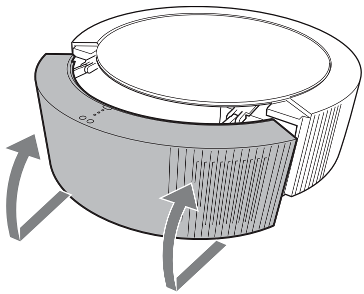
本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2　ランプカバーのネジ（４本）をプラスドライバーでゆるめる。

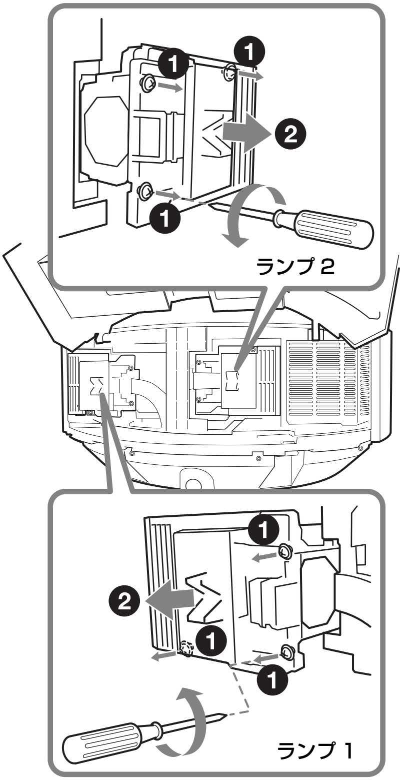


3　本機側面下のスリットに指をかけ、手前に引き、ランプカバーをはね上げる。

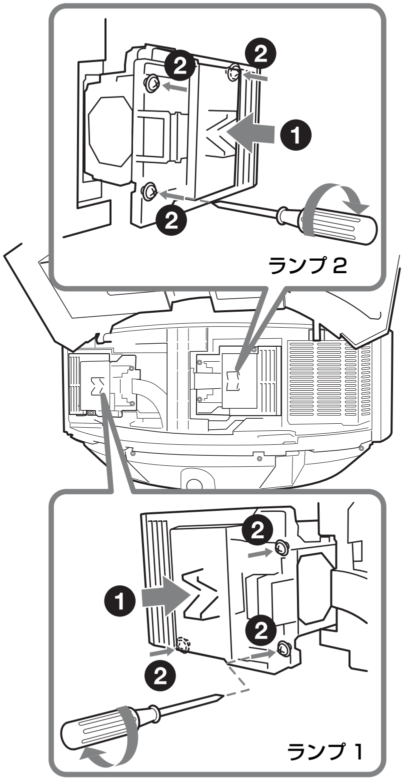
カチッと音がするまでカバーをはね上げると、カバーが固定されます。



4 ランプ１またはランプ２の銀色のプラスネジ ❶（各３本）をプラスドライバーでゆるめ、取り出し用ノブ ❷ をつまんでランプを引き出す。



5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ ❷（各３本）を締める。



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを元の位置にもどし、ネジ（４本）をプラスドライバーで締める。

ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられてい

お手入れ

ないと、電源が入りません。

⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

ご注意

・メッセージを消す場合は、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのいずれかのキーを押してください。
・ランプ交換をするときは、必ずランプに付属のエアーフィルターに交換してください。

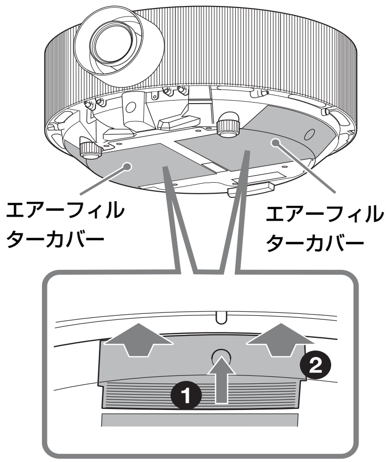
◆エアーフィルターの交換方法は、「エアーフィルターを交換する」をご覧ください。

エアーフィルターを交換する

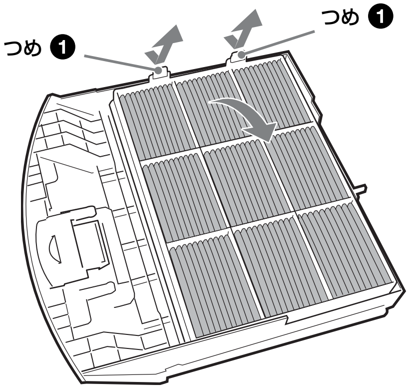
ランプを交換するときは、エアーフィルターも2つとも新しいものと交換が必要です。
交換するエアーフィルターは、別売のプロジェクターランプ LMP-F271 に同梱されているものをお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

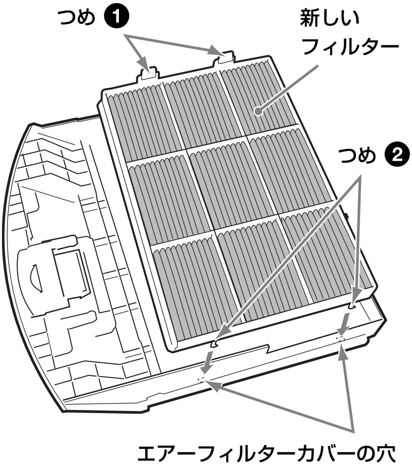
2 ロックボタンを押しながら（❶）、エアーフィルターカバー（2 枚）を引き出し取りはずす（❷）。



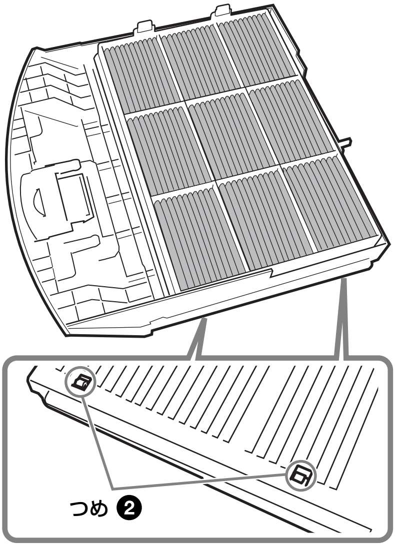
3 エアーフィルターのつめ❶を手前に倒し、上に引き上げるようにしてはずす。



4 新しいエアーフィルターのつめ❷をエアーフィルターカバーの穴（2 か所）にはさみ込み、つめ❶が固定されるまでエアーフィルターを押し下げる。



5 新しいエアーフィルターのつめ❷が、エアフィルターカバーに固定されたのを確認したら、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。



⚠注意

エアーフィルターの交換を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

ご注意

- エアーフィルターを交換するときは必ず2つ同時に交換してください。片方だけの交換は故障の原因になります。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔約60秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。（58ページ） ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。（60ページ） ・レンズが付いていない。 ➔レンズを取り付けてください。取り付けかたは、特約店様用設置説明書を参照してください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。（28ページ） ・接続手順が正しくない。 ➔本機はDDC2B（Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔投影する映像を正しく選んでください。（33ページ） ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。（24ページ） ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。（29ページ）

症状	原因と対処
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。 ・もともとジッターなどがでているビデオ信号を入力した。 ➔TBC（タイムベースコレクター）を使用してください。
INPUT C端子から入力している映像の色がおかしい。	初期設定メニューの「入力C信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力C信号種別」で「コンピューター」、「ビデオGBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。(50ページ)
INPUT C端子から正しく信号を入力しているのに「入力C信号種別の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	初期設定メニューの「入力C信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力C信号種別」で「コンピューター」、「ビデオGBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。(50ページ)
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。(48ページ)
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔画質設定メニューで画質の調整をしてください。(43ページ) ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(50ページ)
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューで正しく設定してください。(43ページ) ・ランプが消耗している。 ➔消耗しているランプを交換してください。(58ページ)
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。(34ページ) ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。
画像の上下左右が欠けて見える	・スクリーン設定が合っていない。 ➔スクリーン設定メニューの「オーバースキャン」を「切」に設定してください。 ➔スクリーン設定メニューの「入力信号調整」の「シフト」で位置を調整してください。

症状	原因と対処
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔スクリーン設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。（46 ページ）
画面がちらつく。	スクリーン設定メニューの「フェーズ」の設定が合っていない。 ➔スクリーン設定メニューの「フェーズ」の数値を設定しなおしてください。（46 ページ）

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	・電池の交換時期がきた。 ➔新しい電池と交換してください。（25 ページ） ・COMMAND ON/OFF 切り換えスイッチが OFF になっている。 ➔ON にする。 ・設置設定メニューの「ID モード」で設定したプロジェクターの ID 番号とリモートコマンダーの ID MODE キーの ID 番号が違っている。 ➔同じ ID 番号、または設置設定メニューの「ID モード」を「オール」に設定してください。

その他に関する項目

症状	原因と対処
本体のコントロールパネルキーが操作できない。	コントロールパネルキーがロックされている。 ➔キーロックを解除してください。（52 ページ）
ファンの音が気になる。	➔高地モードを確認する。（49 ページ） ➔吸気口、排気口がふさがれていないか確認する。 ➔室温が高くないか確認する。 部品の信頼性のため、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、ファンの音が大きくなります。常温の目安は 25 ℃です。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりはめてください。（58、60 ページ）
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（3 回点滅パターンの繰り返し）	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。（58 ページ） ・ランプが高温になっている。 ➔60 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（4 回点滅パターンの繰り返し）	・シャッターが故障している。 ➔テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。（49 ページ）
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（4 回点滅パターンの繰り返し）	・ファンが故障している。 ➔テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（6 回点滅パターンの繰り返し）	・電源コードを抜いて、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ➔テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

症状	原因と対処
LAMP インジケーター1（2）がオレンジに点灯する。	・ランプの交換時期が来た。 ➔ランプ1または2の指定されたランプを交換してください。(58ページ) ※交換時期のランプが点灯しています。 ・ランプが高温になっている。 ➔60秒以上ち、ランプが冷えてからもう1度電源を入れてください。 ※点灯できなかったランプが表示されています。
PIC MUTING インジケーターがオレンジに点灯する。	・消画モード中です。 ➔解除するにはリモコンのMUTING(PIC)キーを押してください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。	・内部の温度が高くなった。 ➔電源を切ってください。 ➔排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 ➔対応範囲内の信号を入力してください。
入力 C 信号種別の設定を確認してください。	・初期設定メニューの「入力 C 信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターから RGB 信号を入力した。 ➔「入力 C 信号種別」を正しく設定してください。(50 ページ)
ランプ 1（2）とフィルターを交換してください。	・ランプとエアーフィルター交換の時期が来た。 ➔指定されたランプを交換してください。(58 ページ) ➔指定されたエアーフィルターを交換してください。(60 ページ) ・ランプ交換後も表示される場合は作業が完了されていない。 ➔交換したランプが正しくセットされているか確認してください。 **ご注意** メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキー、または、コントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。
ランプ 1（2）でエラーが発生しました。ランプ 2（1）のみ点灯します。	・ランプの交換時期が来た。 ➔指定されたランプを交換してください。(58 ページ) ・ランプが高温になっている。 ➔60 秒以上たち、ランプが冷えてからもう 1 度電源を入れてください。
ランプ 1（2）がセットされていません。ランプ 1（2）をセットてください。	・ランプがセットされていない。 ➔指定されたランプを正しくセットしてください。(58 ページ)

メッセージ	意味と対処
ランプ点灯モードが変更されました。 次回起動時に有効になります。 今すぐ再起動しますか？ はい↑いいえ↓	・ランプ点灯モードが変更された。 ➔再起動し、すぐに有効にするかどうかを選択する。
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は高地モードを入でお使いください。	➔本機の通風孔が塞がっていないか確認する。 ➔高地で使用しているときは、高地モードを「入」にする。(49ページ) **ご注意** 機内部温度が下がらないと、1分後に高地モードが「入」に切り換わり、ファンの回転数が上がります。
パワーセービングが設定されています。 1分後に自動的にランプオフ（またはスタンバイ）します。	➔入力信号の無い状態が1時間続いています。ランプオフ（またはスタンバイ）に移行したくない場合は信号を入力してください。このモードを使用しない場合は、パワーセービング設定をオフにしてください。
シャッター消画状態で2時間が経過しました。何もキー入力がない場合には、1分後にスタンバイ状態に移行します。	➔このままの状態を継続したい場合は何かのキーを押してください。再度映像を映したい場合はリモートコマンダーのMUTING PICキーで解除してください。
シャッターが動作しませんでした。	・「消画モード」が「シャッター」に設定しているときに消画させたが、シャッターが動作しなかった。 ➔テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 **ご注意** いずれかのキーを押すことでメッセージは消去されます。この状態でPOWERキーとMUTING PICキー以外は無効になります。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました。	操作が正しくない。 ➔正しいキーを押してください。
パネルキーロック中です！	初期設定メニューの「パネルキーロック」が「入」に設定されている。 ➔コントロールパネルのキーは全てロックされています。リモートコマンダーで操作してください。（52 ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、
　3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル　VPL-FH300L：1.2 インチ（30.5 mm）2K × 1K パネル、約 664 万画素（2048 × 1080 × 3）
　VPL-FW300L：1.2 インチ（30.5 mm）WXGA パネル、約 328 万画素（1366 × 800 × 3）

ランプ　275 W 高圧水銀ランプ× 2

投影画面サイズ
　40 型～ 600 型（1,016 mm ～ 15,240 mm）
　（VPLL-Z4045 使用時は 60 型～ 600 型（1,524 mm ～ 15,240 mm））

光出力[1]（標準ズームレンズ VPLL-Z4019 装着時）
　VPL-FH300L：6000 lm
　VPL-FW300L：7000 lm
　（ランプモード「高」、ランプ点灯モード「2 灯」の時）

[1] 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911：2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離

VPL-FH300L（床置き、標準ズームレンズ VPLL-Z4019 装着時）
（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき）

投影画面サイズ（対角）	距離（m）
40 型（1,016 mm）	1.7 ～ 2.2
60 型（1,524 mm）	2.6 ～ 3.3
80 型（2,032 mm）	3.5 ～ 4.4
100 型（2,540 mm）	4.3 ～ 5.6
120 型（3,048 mm）	5.2 ～ 6.7
150 型（3,810 mm）	6.6 ～ 8.4
200 型（5,080 mm）	8.8 ～ 11.2
300 型（7,620 mm）	13.3 ～ 16.9
400 型（10,160 mm）	17.8 ～ 22.6
500 型（12,700 mm）	22.2 ～ 28.2
600 型（15,240 mm）	26.7 ～ 33.9

（設計値のため多少の誤差あり）

VPL-FW300L（床置き、標準ズームレンズ VPLL-Z4019 装着時）

（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき）

投影画面サイズ（対角）	距離（m）
40 型（1,016 mm）	1.6 ～ 2.1
60 型（1,524 mm）	2.5 ～ 3.2
80 型（2,032 mm）	3.4 ～ 4.3
100 型（2,540 mm）	4.2 ～ 5.4
120 型（3,048 mm）	5.1 ～ 6.5
150 型（3,810 mm）	6.4 ～ 8.2
200 型（5,080 mm）	8.6 ～ 10.9
300 型（7,620 mm）	12.9 ～ 16.5
400 型（10,160 mm）	17.3 ～ 22.0
500 型（12,700 mm）	21.7 ～ 27.5
600 型（15,240 mm）	26.0 ～ 33.1

（設計値のため多少の誤差あり）

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

解像度　VPL-FH300L：水平解像度 750 TV 本（ビデオ入力時）
2,048 × 1,080 ドット（RGB 入力時）
VPL-FW300L：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）
1,366 × 800 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号 2)
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 24 ～ 92 Hz
最高入力解像度信号（アナログ）：UXGA 1600 × 1200 fV：60Hz
最高入力解像度信号（デジタル）：2K × 1K 2048 × 1080 fV：24 Hz 3)

2) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

3) 2K × 1K（2048 × 1080）信号を入力した場合、両端縦 1 ラインの情報が表示されません。また、ネイティブな表示とはなりません。2K × 1K 相当。

対応ビデオ信号
15k RGB ／コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/24p、1080/30p、1080/60p、1080/50p）、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

その他

入出力

VIDEO IN（ビデオ入力）
VIDEO：BNC ジャック
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン、凹
Y（輝度）信号：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
C（クロマ）信号：
バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）（75Ω 終端）

VIDEO OUT（ビデオ出力）
VIDEO：BNC ジャック
VIDEO IN 端子のループスルー出力
S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン、凹
S VIDEO IN 端子のループスルー出力

INPUT A（入力 A）/ INPUT B（入力 B）：
アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン、凹
R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
B：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性

INPUT C（入力 C）：
アナログ RGB/ コンポーネント：5BNC、凹
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）（コンピューター信号を除く）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性

INPUT D（入力 D）：
デジタル RGB/Y C_B (P_B) C_R (P_R)：HDMI

INPUT E （入力 E）：
オプションボード用

INPUT F（入力 F）：
NETWORK：RJ45：10BASE-T/100 BASE-TX

OUTPUT： MONITOR OUT：HD-D-sub 15 ピン、凹
R、G、B：Gain Unity：75Ω
HD、VD：4 Vp-p（オープン）、1 Vp-p（75Ω）

REMOTE： RS-232C：D-sub 9 ピン、凹

CONTROL S IN/PLUG IN POWER：
ステレオミニジャック

一般

外形寸法　699 × 298 × 785 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含む）
質量　約 30.5 kg
電源　AC100 V、8.2 A、50/60 Hz
消費電力　最大 820 W
スタンバイ時（標準）：30 W
スタンバイ時（低）：0.5 W
発熱量　2798 BTU
動作温度　0 ℃ ～ + 35 ℃
動作湿度　35 % ～ 85 %（結露しないこと）
保存温度　－ 20 ℃ ～ + 60 ℃
保存湿度　10 % ～ 90 %
付属品　リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池（2）
レンズホールカバー（1）
電源コード（1）
ダストカバー（1）
CD-ROM（取扱説明書、特約店様用設置説明書、アプリケーションソフトウェア）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）
AC コネクターカバー（1）
HDMI コネクターカバー（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売アクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-F271（交換用エアフィルター 2 枚同梱）
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-630
プロジェクターサスペンションサポートジョイントポール
PSS-630P
HD-SDI/SDI 入力アダプター
BKM-FW16
プレゼンテーションツール
RM-PJPK1
プロジェクションレンズ
短焦点固定レンズ、VPLL-4008
（リア投影（打ち込み角 0° ）用 ）
F=2.0
f=22.15 mm
マニュアルフォーカス
投影画面サイズ
40 型～ 600 型
（1,016 mm ～ 15,240 mm）
投影距離：VPL-FH300L（VPL-FW300L）
100 型（2,540 mm）：
1790 mm（1750 mm）
200 型（5,080 mm）：
3660 mm（3570 mm）
300 型（7,620 mm）：
5530 mm（5390 mm）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
148 × 133 × 240 mm
質量 2550 g

短焦点ズームレンズ：VPLL-Z4015
F=2.2 ～ 2.6
f=39.76 ～ 54.27 mm
電動フォーカス / ズーム
投影画面サイズ
40 型～ 600 型
（1,016 mm ～ 15,240 mm）
投影距離：VPL-FH300L
（VPL-FW300L）
100 型（2,540 mm）：
3340 ～ 4410 mm
（3250 ～ 4290 mm）
200 型（5,080 mm）：
6790 ～ 8920 mm
（6610 ～ 8690 mm）
300 型（7,620 mm）：
10240 ～ 13430 mm
（9980 ～ 13090 mm）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
148 × 133 × 231 mm
質量 3000 g

標準ズームレンズ：VPLL-Z4019
F=1.7 ～ 2.1
f=52.14 ～ 68.57 mm
電動フォーカス / ズーム
投影画面サイズ
40 型～ 600 型
（1,016 mm ～ 15,240 mm）
投影距離：VPL-FH300L
（VPL-FW300L）
100 型（2,540 mm）：
4340 ～ 5550 mm
（4230 ～ 5410 mm）
200 型（5,080 mm）：
8810 ～ 11220 mm
（8590 ～ 10940 mm）
300 型（7,620 mm）：
13280 ～ 16900 mm
（12940 ～ 16470 mm）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
148 × 133 × 212 mm
質量 3060 g

中焦点ズームレンズ：VPLL-Z4025
F=2.2 ～ 3.1
f=64.59 ～ 124.11 mm
電動フォーカス / ズーム
投影画面サイズ
40 型～ 600 型
（1,016 mm ～ 15,240 mm）
投影距離：VPL-FH300L
（VPL-FW300L）
100 型（2,540 mm）：
5450 ～ 10110 mm
（5310 ～ 9850 mm）
200 型（5,080 mm）：
11060 ～ 20370 mm
（10780 ～ 19850 mm）
300 型（7,620 mm）：
16680 ～ 30620 mm
（16250 ～ 29860 mm）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
148 × 133 × 243 mm
質量 2800 g

長焦点ズームレンズ：VPLL-Z4045
F=2.2 ～ 3.6
f=119.3 ～ 217.1 mm
電動フォーカス / ズーム
投影画面サイズ
60 型～ 600 型
（1,524 mm ～ 15,240 mm）
投影距離：VPL-FH300L
（VPL-FW300L）

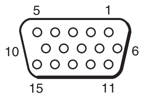
100 型（2,540 mm）：
10050 ～ 17400 mm
（9800 ～ 16970 mm）
200 型（5,080 mm）：
20310 ～ 35030 mm
（19800 ～ 34160 mm）
300 型（7,620 mm）：
30570 ～ 52660 mm
（29810 ～ 51350 mm）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
148 × 133 × 235 mm

質量 3000 g

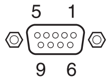
ピン配列

INPUT A、B
RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）



1	映像入力（赤）R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力（緑）G	10	接地
3	映像入力（青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

REMOTE
RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

その他

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	アナログ信号	デジタル信号
1	ビデオ /60 Hz	ビデオ /60 Hz	15.734	59.940	−	○	×
2	ビデオ /50 Hz	ビデオ /50 Hz	15.625	50.000	−	○	×
3	480/60i	DTV 480/60i	15.734	59.940	S on G/Y	○	○
4	575/50i	DTV 575/50i	15.625	50.000	S on G/Y	○	○
5	480/60p	480/60p（倍速 NTSC）	31.470	60.000	S on G/Y	○	○
6	575/50p	575/50p（倍速 PAL）	31.250	50.000	S on G/Y	○	○
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	S on G/Y	○	○
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	S on G/Y	○	○
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	S on G/Y	○	○
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	S on G/Y	○	○
12	1080/60p	1080/60p	67.500	60.000	S on G/Y	×	○
13	1080/50p	1080/50p	56.260	50.000	S on G/Y	×	○
14	1080/24p	1080/24p	26.973	23.976	S on G/Y	×	○
15	1080/30p	1080/30p	33.750	29.970	S on G/Y	×	○
21	640 × 350	VGA モード 1 (VGA 350)	31.469	70.086	H- 正 V- 負	○	×
22		VESA 85 (VGA 350)	37.861	85.080	H- 正 V- 負	○	×
23	640 × 400	NEC PC 98	24.823	56.416	H- 負 V- 負	○	×
24		VGA モード 2 (TEXT)/ VESA70	31.469	70.086	H- 負 V- 正	○	×
25		VESA 85 (VGA 400)	37.861	85.080	H- 負 V- 正	○	×
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H- 負 V- 負	○	○
27		Mac 13	35.000	66.667	H- 負 V- 負	○	×
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 負 V- 負	○	×
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 負 V- 負	○	×
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H- 負 V- 負	○	×
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	○	×
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	○	○
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	○	×

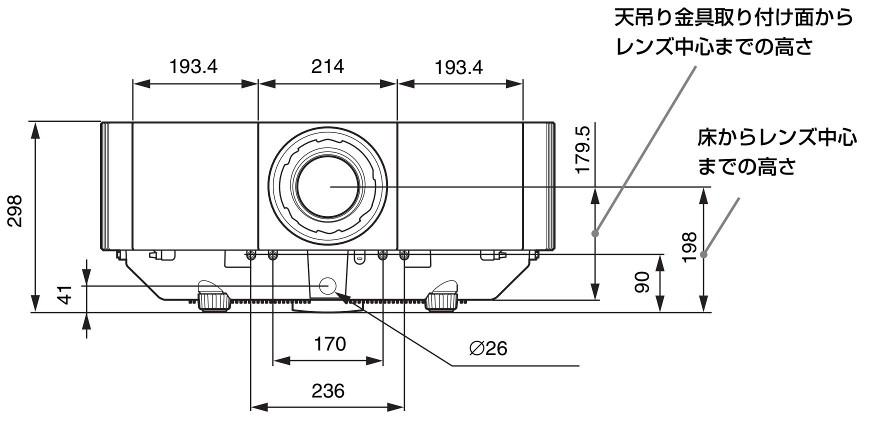
メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	アナログ信号	デジタル信号
34	800 × 600	VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正 V- 正	○	×
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	○	×
36	832 × 624	Mac 16	49.724	74.550	H- 負 V- 負	○	○
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	○	○
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	○	×
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	○	×
40		VESA 85	68.677	84.997	H- 正 V- 正	○	×
41	1152 × 864	VESA 70	63.995	70.019	H- 正 V- 正	○	×
42		VESA 75	67.500	75.000	H- 正 V- 正	○	×
43		VESA 85	77.487	85.057	H- 正 V- 正	○	×
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	○	○
46		VESA 75	75.000	75.000	H- 正 V- 正	○	×
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	○	○
48		VESA 75	79.976	75.025	H- 正 V- 正	○	×
49		VESA 85	91.146	85.024	H- 正 V- 正	○	×
50	1400 × 1050	VESA 60	65.317	59.978	H- 負 V- 正	○	○
51	1600 × 1200	VESA 60	75.000	60.000	H- 正 V- 正	○	×
55	1280 × 768	1280 × 768/60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	○	○
56	1280 × 720	1280 × 720/60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	○	×
60	1360 × 768	1360 × 768/60	47.720	59.799	H- 負 V- 正	○	○
61	1440 × 900	1440 × 900/60	55.935	59.887	H- 負 V- 正	○	○
62	1680 × 1050	1680 × 1050/60	65.290	59.954	H- 負 V- 正	○	○
63	1280 × 800	1280 × 800/60	49.702	59.810	H- 負 V- 正	○	○

ご注意

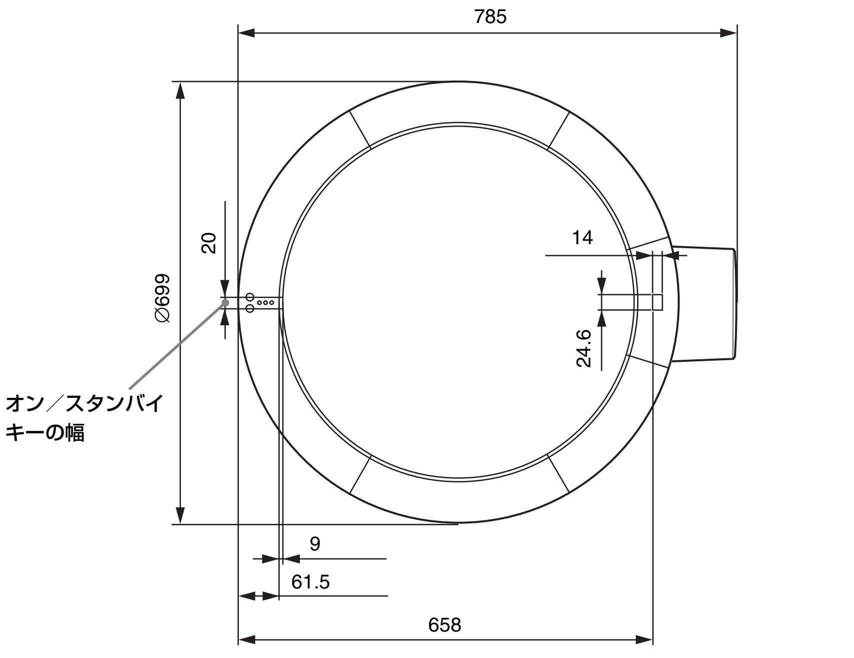
上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

寸法図

前面

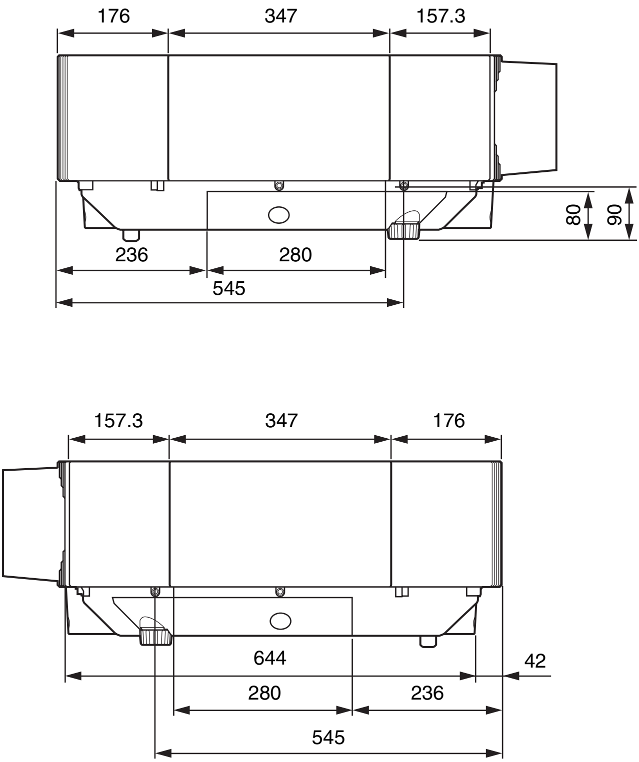


天面



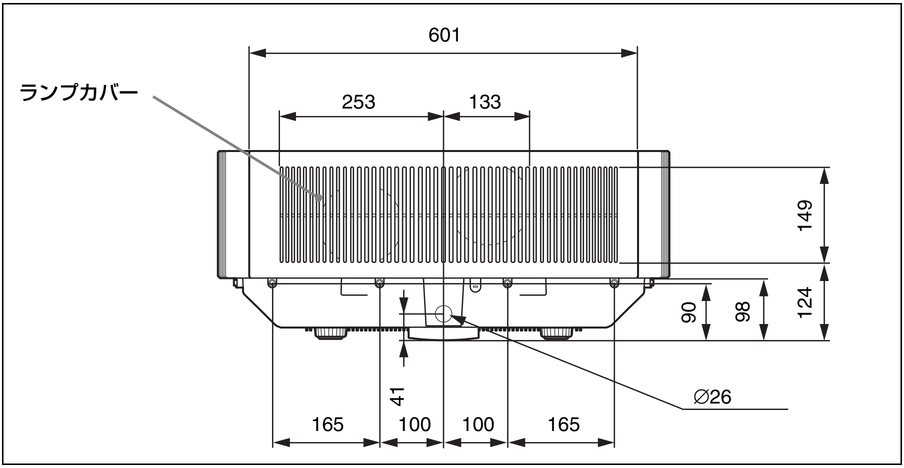
単位：mm

側面

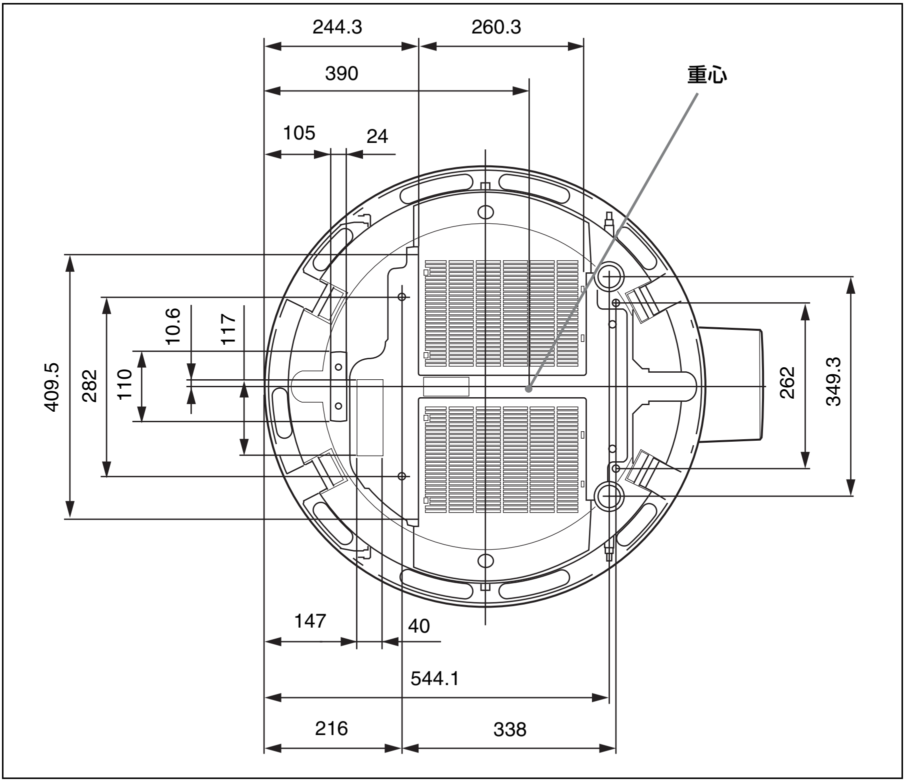


単位：mm

後面


601
ランプカバー
253
133
149
90
98
124
41
∅26
165
100
100
165

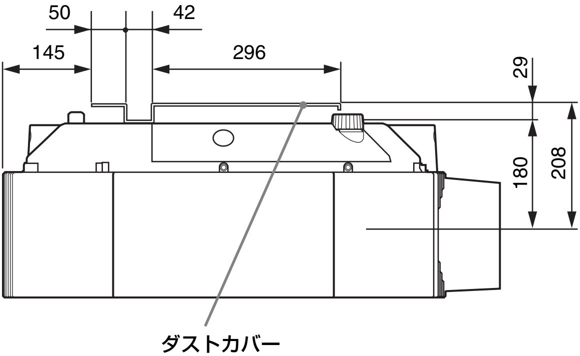
底面


244.3
260.3
390
重心
105
24
409.5
282
110
10.6
117
262
349.3
147
40
544.1
216
338

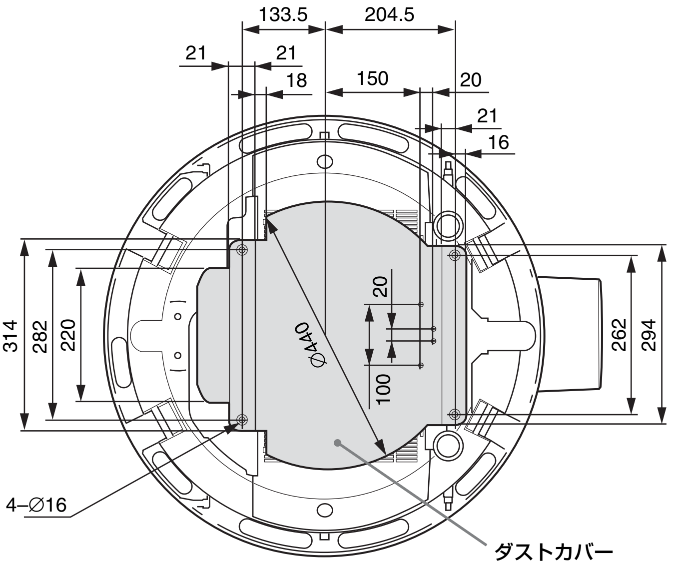
単位：mm

ダストカバーを付けた場合

側面



底面



単位:mm

索引

ら

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1